

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

和歌山市立八幡台小学校

【取組内容】 何事も順序立てて少しずつ！「GIGA端末活用系統表！」

- 取組 → 情報活用能力育成にあたっての指標を低・中・高に分けて作成した。
- 変容 → 指標をはっきりさせることで、子供の到達度を職員の誰も見取りやすくなり、効果的に指導ができるようになった。

和歌山市立八幡台小学校 GIGA端末活用系統表（R6.7.30）

	端末を使う際の技能			知識	
	基本操作	アプリケーションの操作	タイピング	情報モラル・セキュリティ	態度
低学年	- タブレットの充電 - ログイン - 写真の撮影 - 音声の録音 - 動画の撮影 - タッチ操作（タップ、ドラッグ、ピンチアウト、手書き入力） - 電子ファイルの呼び出し・保存	- Gクラスルームで教師の投稿の閲覧 - Gドライブにファイル - Gフォームでアンケートに回答 - フォルダをアップロード - ホワイトボードの共同編集 - の活用	2 5 級クリア(2 年生以上) - 正しいホームポジションでひらがなの単字を入力	使用のルール - パスワード、IDの取り扱い - 伝えてはいけない情報（住所、学校名、生年月日など） - 自分以外の人の顔や家の写真などを勝手に撮影しないこと - 自分以外の人の顔が写っている写真や動画などを勝手に人に送ったり、アップロードしてはいけないことを知っている。	5 つの約束（文部科学省）を知っている。 ①タブレットを使うときは姿勢よくしよう。 ②30分に1回はタブレットから目を離そう。 ③前回はタブレットを使わないようにしよう。 ④自分の目を大切にしよう ⑤ルールを守って使おう。 - 楽しんでコンピュータを使う。
中学年	- 文章を書く。 - 必要な電子ファイルの検索 - 電子ファイルのフォルダの管理・作成	- Gクラスルームでスレッドにコメント - Gクラスルームで課題の提出 - Gスライドで意見の共有 - Gドキュメントで文章の作成 - Gフォームでアンケートの作成	2 0 級クリア - 正しいホームポジションでひらがなの単語を入力	- 読む人に不快な気持ちを与えてはいけないことを理解している。 - 書き方によっては自分の意図したものと異なる受け取り方をされてしまう可能性があるため、細心の注意を払う必要があることを理解している。	- 心身の健康への影響 - 情報技術を生活に活かすこと - 情報通信ネットワークを協力して活用
高学年		- Gスライドを使ってプレゼンテーション - Gスプレッドシートを使って簡単な計算、グラフの作成 - を使った文書の作成（ポスターなど） - 目的に応じたアプリケーションの選択	1 3 級クリア - 正しいホームポジションでひらがな、漢字の単字・単語・短文を入力	情報についての自他の権利（自分の行動が及ぼす影響）	情報や情報技術をよりよい生活や社会づくりに活かそうとする。